II. 研究業績・教育実績

■研究業績に関する事項■

**研究内容：**○○○○，○○○○，・・・

「科学研究費助成事業　審査区分表」の「審査区分表（小区分一覧）」の「内容の例」を参考に，研究内容を表す名称を3 つ以内で記入。「内容の例」に該当がない場合は，適宜記入。

総表

・筆頭著者には筆頭著者相当を含める。

・筆頭著者相当と責任著者は，論文にその旨が明記されているものに限る。

|  |
| --- |
| ■英語の査読付き学術論文  【計　　　　編，　うち，筆頭または責任著者　　　　編】  【過去5年以内　　　　編，　うち，筆頭または責任著者　　　　編】  ■英語以外の査読付き学術論文  【計　　　　編，　うち，筆頭または責任著者　　　　編】  【過去5年以内　　　　編，　うち，筆頭または責任著者　　　　編】  ■著書  ・単著　 【計　　　　編，　うち，英語　　　　編】  ・共著　 【計　　　　編，　うち，英語　　　　編】  ■上記以外  **＜**査読無の学術論文**＞**  【計　　　　編，　うち，筆頭著者　　　　編】  【人文科学・社会科学領域における招待筆頭論文または依頼筆頭論文　　　　編】  **＜**論文形式proceedings**＞**  ・英語の論文形式proceedings 　　　　【計　　　　編，　うち，筆頭著者　　　　編】  ・英語以外の論文形式proceedings 　【計　　　　編，　うち，筆頭著者　　　　編】  ■学術集会等での発表・招待講演  ・国際学術集会の招待講演 　　　　　　【計　　　　回】  ・国際学術集会の通常の研究発表　　【計　　　　回，　うち，筆頭　　　　回】  ・国内学術集会の招待講演 　　　　　　【計　　　　回】  ■科研費等の外部資金獲得状況（自身が研究協力者の場合を除く）及び特許  ・科研費（科学研究費補助金／学術研究助成基金助成金）  【計　　　　回，　うち，研究代表者　　　　回】，  【過去5年以内　　　　回，　うち，研究代表者　　　　回】  ・科研費以外の公的研究資金  【計　　　　回，　うち，研究代表者　　　　回】，  【過去5年以内　　　　回，　うち，研究代表者　　　　回】  ・企業・財団等による競争的研究資金  【計　　　　回，　うち，研究代表者　　　　回】，  【過去5年以内　　　　回，　うち，研究代表者　　　　回】  ・特許 　【計　　　　件】 |

1．英語の査読付き学術論文

・論文名，著者名（自身の名前に下線），掲載誌名，巻，最初と最後の頁，発表年（西暦），DOIについて，古い順に記載。以上の各項目が記載されていれば，項目の順序を入れ替えてもよい。

・自身（下線）が筆頭著者ではなく筆頭著者相当または責任著者の場合だけアスタリスク\*を加える。筆頭著者相当と責任著者は，論文にその旨が明記されているものに限る。

・Journal Impact Factor（JIF：クラリベイト社JCRの公表値に限る）を有する論文掲載誌の場合は，各論文の最後にJIF（最新の値）を記載。

【記載例】

1. Kanazawa B, Toyama C, Fukui A. Title of paper. ***Journal Name***. 2020;15:230-8. DOI: 10.1002/yugo.1880070136, JIF: 3.1.

\*2. Fukui A, Kanazawa B, Toyama C. Title of paper. ***Journal Name***. 2025;28:218-24. DOI: 10.1148/yugo.16.3.8897627, JIF: 4.5.

2．英語以外の査読付き学術論文

・「1．英語の査読付き学術論文」と同じ形式で記載。JIFの記載は不要。

3．著書

・著者名，単著と共著の別，題名，出版社，出版都市，出版年（西暦），ISBN等の項目を記載。これらの項目が記載されていれば，項目の順序を入れ替えてもよい。

【記載例】

1. 金沢太郎, 石川次郎. 共著. 最適設計ハンドブック－基礎・戦略・応用－.*朝倉書店*（基礎編3.2節，応用編3.5節分担）. 2021年12月. ISBN978-4-949999-16-8

4．査読無の学術論文

・「1．英語の査読付き学術論文」と同じ形式で記載。JIFの記載は不要。

・人文科学・社会科学領域における招待筆頭論文または依頼筆頭論文は，先頭にアスタリスク\*を加える。

5．論文形式proceedings

・英語の論文形式proceedings

「1．英語の査読付き学術論文」と同じ形式で記載。JIFの記載は不要。

・英語以外の論文形式proceedings

「1．英語の査読付き学術論文」と同じ形式で記載。JIFの記載は不要。

6．学術集会等での発表・招待講演

共同発表者を含む発表者全員の氏名，演題名，学術集会名，開催場所，開催年（西暦）を列記。国内学術集会の通常の研究発表は，上の総表に数値だけを記入し，発表毎の列記は不要。

・国際学術集会の招待講演

・国際学術集会の通常の研究発表

・国内学術集会の招待講演

7．科研費等の外部資金獲得状況（自身が研究協力者の場合を除く）及び特許

研究費は，研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名），獲得年（西暦）と期間，研究課題名，研究代表者と研究分担者の別，研究経費（直接経費）を記載。特許は，番号，発明の名称，種別，出願番号，登録番号，氏名等を記載。各項目が記載されていれば，項目の順序を入れ替えてもよい。

・科研費（科学研究費補助金／学術研究助成基金助成金）

【記載例】

1. ○○○○に関するメカニズム．基盤研究（C），2015年4月～2017年3月，5,000千円，代表．

2. ■■の制御．基盤研究（B），2018年4月～2021年3月，3,000千円，分担．

・科研費以外の公的研究資金

【記載例】

1. 戦略的創造研究推進事業（CREST）○○○○の創出．JST，2013年4月～2018年3月，80,000千円，分担．

・企業・財団等による競争的研究資金

・特許

【記載例】

1. ○○○○方法，特許，出願番号20xx-123456，登録番号6543210，金沢太郎, 石川次郎．

8．その他

受賞等を含めて特記すべき研究業績があれば記載。

■教育実績に関する事項■

**1．教育方法の実践例**

授業外における学習を促進する取組，授業内容のインターネット上での公開等や，司法研修所等の教育機関における教育経験を記載。

**2．作成した教科書，教材**

**3． 教育能力に関する評価**

学位取得者数（主指導に限る）を修士号と博士号に分けて記載。

**4．大学等教育研究機関での教育経験**

担当授業科目と期間をもれなく記載。

**5．大学院における教育研究指導実績**

主指導大学院生の学位取得数を修士号と博士号に分けて記載。

**6．企業等での教育経験**

**7．所属組織の教育及び管理・運営に関係する委員会委員**

**8．その他**

上記以外で教育に関して特記すべき実績があれば記載。

■社会・国際貢献活動及び職務上の実績に関する事項■

**1. 社会・国際貢献活動**

**2. 所属学術団体，公的委員会**

所属学術団体及び公的委員会等の名称，所属期間，役歴（あれば）を記載。

**3．ガイドライン・政策等の提言実績**

**4. 実務の経験を有する者についての特記事項**

【例】

・臨床業務実績

・他研究機関等との共同研究

・訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績

・各種審議会・行政委員会，各種ADR 等の委員

・行政機関における調査官等の官職

・調査研究，留学，海外事情調査等

・上記を裏付ける報告書，手引書，マニュアル，雑誌等

**5．その他**

上記以外で特記すべき社会・国際貢献活動及び職務上の実績があれば記載。